

# 2021年3月期 通期 決算説明会資料



2021年6月4日

株式会社昭文社ホールディングス

証券コード: 9475

# 資料の内容

- |   |                      |        |
|---|----------------------|--------|
| 1 | 2021年3月期 通期 連結決算概要   | P3-11  |
| 2 | 2022年3月期 通期 連結業績の見通し | P12-14 |
| 3 | 参考資料                 | P15-16 |

【本資料の記載数値・内容について】  
百万円未満は切り捨てております。  
%表示は小数第1位未満を四捨五入しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】  
株式会社昭文社ホールディングス 取締役管理本部長 加藤 弘之  
電話 03(3556)8171

# 資料の内容

---

## 1 2021年3月期 通期 連結決算概要

---

2022年3月期 通期 連結業績の見通し

## 2 参考資料

# 2021年3月期 通期 連結決算概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高は21.8%減少、原価は前期に比べ減少したものの売上の減少規模が原価の減少規模を大きく超えたため、営業・経常利益は悪化。当社グループが保有する固定資産について減損損失を計上したことにより、当期利益は大幅に悪化。

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	単位:百万円		2021年3月期 (通期予想)	単位:百万円 増減額
			増減額	増減率		
売上高	8,073	6,313	-1,760	-21.8%	6,460	-146
営業利益	-65	-1,448	-1,383	-	-1,020	-428
(売上高比、以下同)	-0.8%	-22.9%			-15.8%	
経常利益	15	-1,415	-1,430	-	-960	-455
	0.2%	-22.4%			-14.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	129	-2,374	-2,504	-	-1,190	-1,184
	1.6%	-37.6%			-18.4%	
1株当たり当期純利益 (円)	7.15	-130.62	-137.77	-	-65.47	-

※上記予想は2020年11月6日発表

# 2021年3月期 通期 セグメント別利益(前期比較)

不動産事業では、大阪支社土地建物の売却による収益を計上し、セグメント利益は大幅にプラスとなったものの、メディア事業、ソリューション事業、観光事業では新型コロナウイルス感染症の影響を受けセグメント利益は大幅にマイナス。

(セグメント別)	2020年3月期通期実績		2021年3月期通期実績		増減額□		増減率□	
	売上	利益	売上	利益	売上	利益		
	単位:百万円							
メディア事業	-	-	3,348	-2,010	-	-	-	-
ソリューション事業	-	-	1,831	-183	-	-	-	-
不動産事業	-	-	1,166	892	-	-	-	-
観光事業	-	-	133	-384	-	-	-	-
その他	-	-	166	7	-	-	-	-
(セグメント取引額等調整額)	-	-	-332	228	-	-	-	-
合計	8,073	-65	6,313	-1,448	-1,760	-1,383	-21.8%	-

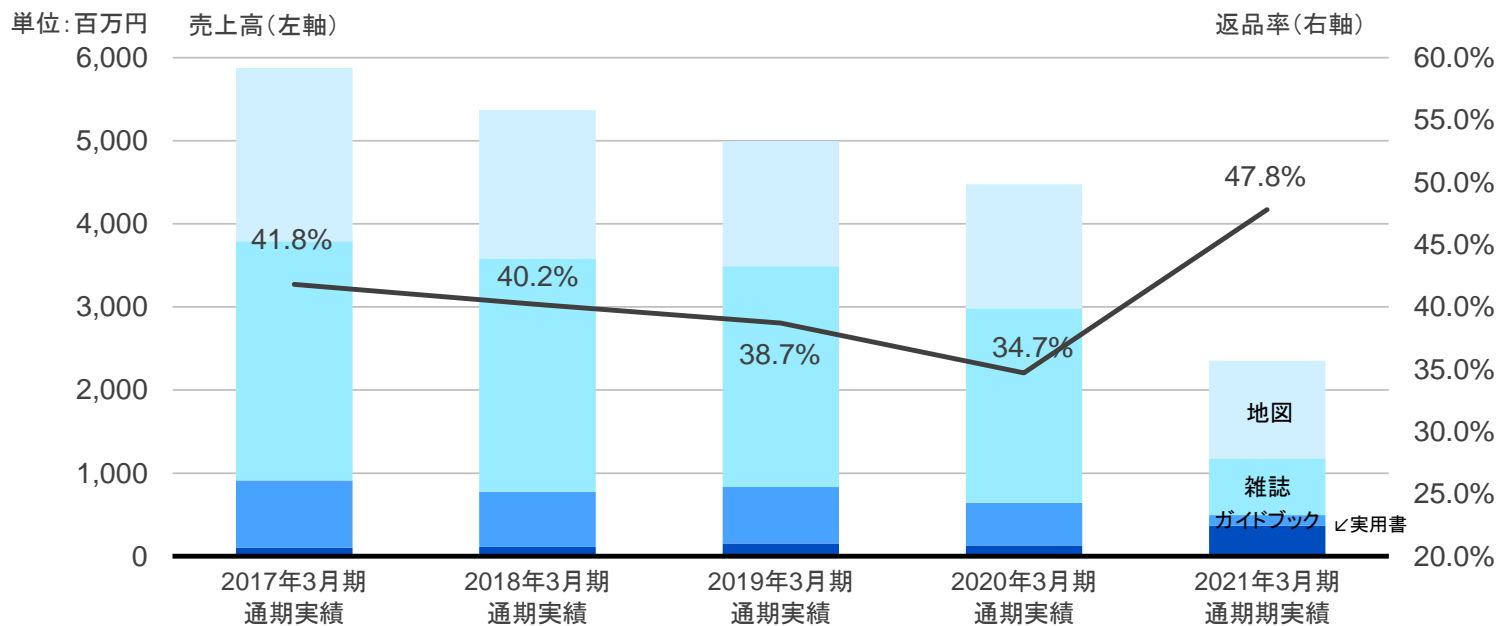
※当期よりセグメント別としているため、前期実績は合計のみ記載

# 2021年3月期 通期 ハイライト

- 当社は2020年4月1日付で持株会社体制に移行しました。これによりグループ経営と各事業子会社の経営は分離され、各社はそれぞれの事業環境に迅速に対応し、意思決定を行います。また、合わせて事業セグメント別業績を開示することといたしました。
- 当期は当社グループのほぼすべての事業領域においてコロナ禍の影響を受ける大変厳しい年度となりました。
- メディア事業では、市販出版物の売上が海外旅行関連商品を中心に大幅に減少しましたが、実用書・児童書ジャンルの出版物の構成比を高め、また人気シリーズでスマホアプリ付き書籍を発売するなど総合メディア企業への方向性を明確化しました。
- ソリューション事業では、ウイズコロナ型商材の調達・開発・販売を積極的に行い、新たな収益の獲得を実現するとともにアフターコロナへの商材開発も強化しております。
- 不動産事業は前ページ記載の通りです。
- 観光事業では、一部海外拠点の統廃合や現地アクティビティ施設における事業活動を必要最小限なものに留めるなど、固定費の圧縮施策を実施する一方で、SNSフォロワーを獲得しつつアフターコロナの本格的な需要回復に備えております。

# 2021年3月期 通期 市販出版物売上高・返品率の推移

在庫抑制施策を継続しているものの売上高が大幅に減少したため返品率は増加。

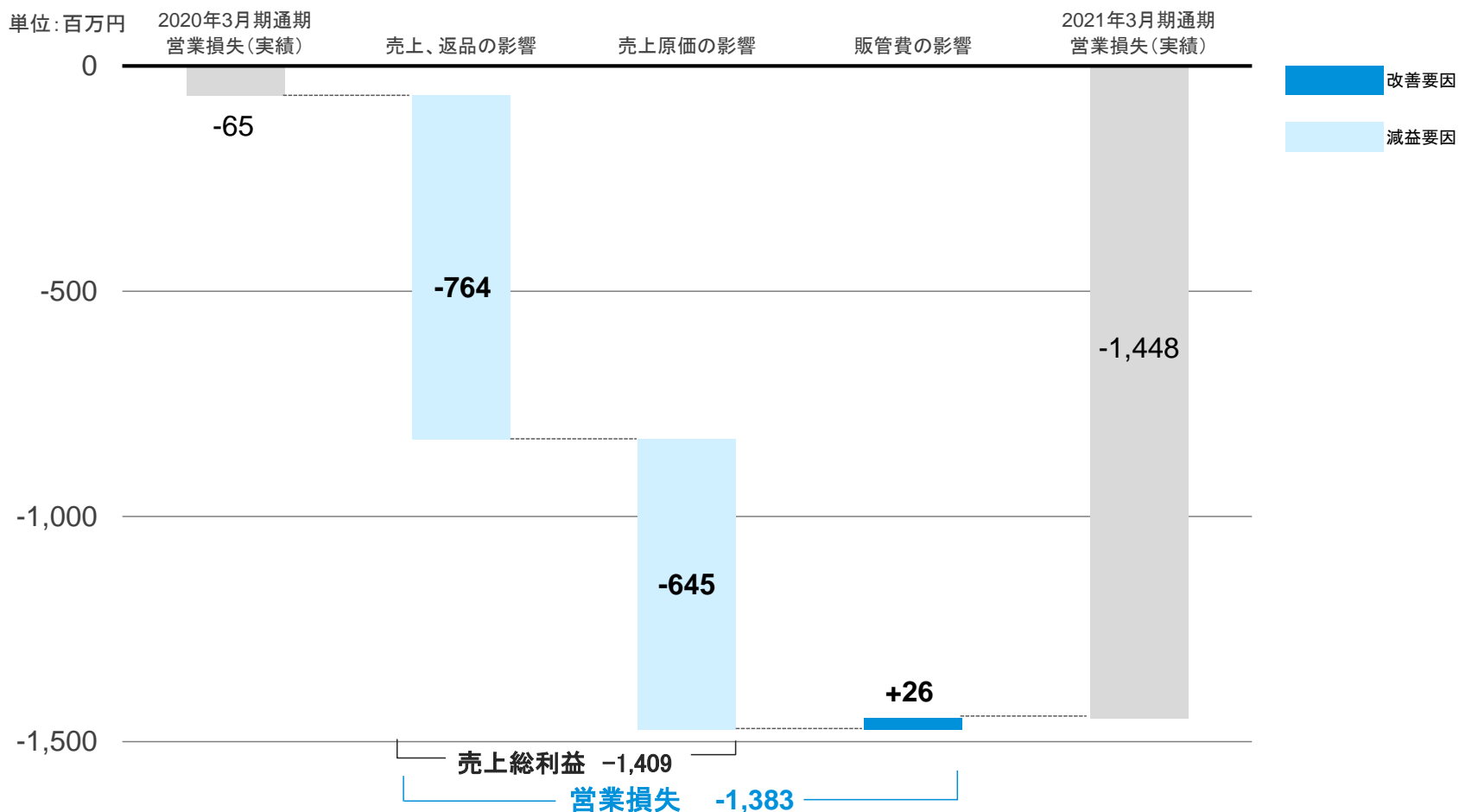


単位：百万円

市販出版物売上高合計	5,876	5,372	4,992	4,478	2,354
地図	2,086	1,787	1,500	1,493	1,174
雑誌	2,876	2,804	2,658	2,339	681
ガイドブック	811	666	677	513	130
実用書	102	113	156	131	367
市販出版物返品率	41.8%	40.2%	38.7%	34.7%	47.8%

# 2021年3月期 通期 営業損益の増減分析(前期比較)

売上が大幅に減少し、原価は前期に比べ減少したものの売上の減少規模が原価の減少規模を大きく超えたため、営業損失は大幅に悪化。





# 2021年3月期 通期 販管費・設備投資額・償却費の状況

広告宣伝費はコスト管理の徹底により減少。償却費は前年に減損損失の計上がなかったことにより増加。

単位:百万円

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	8,073	6,313	-1,760	-21.8%
販管費合計	2,896	2,870	-25	-0.9%
販売促進費	93	68	-25	-27.0%
広告宣伝費	107	35	-72	-67.6%
役員報酬	135	202	66	49.4%
従業員給与・賞与	970	996	26	2.7%
賞与引当金繰入額	111	102	-8	-7.3%
減価償却費	77	102	24	31.7%
研究開発費	42	17	-24	-59.3%
その他	1,358	1,345	-12	-0.9%
設備投資額合計	440	344	-96	-21.8%
有形固定資産	163	175	11	7.1%
無形固定資産	276	168	-107	-38.9%
償却費合計	143	269	125	87.7%
有形固定資産	125	152	27	21.8%
無形固定資産	17	116	98	548.2%

# 2021年3月期 通期 連結貸借対照表

資産では、流動資産において売上高が減少したことに伴い現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少。

単位:百万円

	2020年3月期末		2021年3月期末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	18,817	100.0%	16,872	100.0%	-1,945	
流動資産	9,736	51.7%	7,847	46.5%	-1,888	現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の減少
固定資産	9,081	48.3%	9,024	53.5%	-56	
負債合計	3,605	19.2%	3,585	21.3%	-19	
流動負債	2,882	80.0%	2,644	73.8%	-237	返品調整引当金の減少
固定負債	722	20.0%	940	26.2%	217	繰延税金負債の増加
純資産合計	15,212	80.8%	13,286	78.7%	-1,925	
株主資本	14,779	97.2%	12,405	93.4%	-2,374	親会社株主に帰属する当期純損失の計上による利益剰余金の減少
その他の包括利益 累計額	433	2.8%	881	6.6%	448	その他有価証券評価差額金の増加
負債・純資産合計	18,817	100.0%	16,872	100.0%	-1,945	

# 2021年3月期 通期 連結キャッシュ・フロー計算書

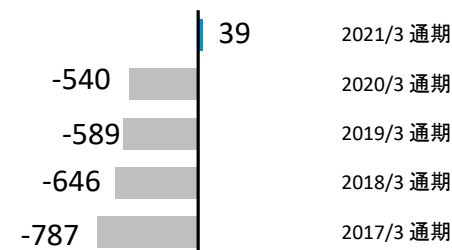
税金等調整前当期純損失を計上したものの減損損失の計上、売上債権の増減額の減少、たな卸資産の増減額の減少の影響を受け営業キャッシュ・フローはプラス。

キャッシュ・フロー 過去5年間推移 単位:百万円

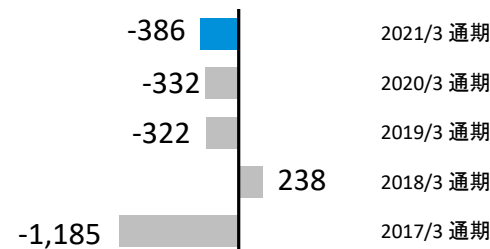
単位:百万円

	2020年 3月期 通期実績	2021年 3月期 通期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	-540	39	579	税金等調整前当期純利益 -2,355百万円 減損損失 +626百万円 売上債権の増減額 +450百万円 たな卸資産の増減額 +931百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	-332	-386	-53	有形固定資産の取得による支出 -84百万円 有形固定資産の売却による収入 -144百万円 事業譲受による支出 +81百万円 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 +60百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	0	0	0	
現金及び 現金同等物に係る 換算差額	-1	6	7	
現金及び 現金同等物の 増減額(－は減少)	-875	-341	533	
現金及び 現金同等物の 期末残高 ※	4,970	4,629	-341	

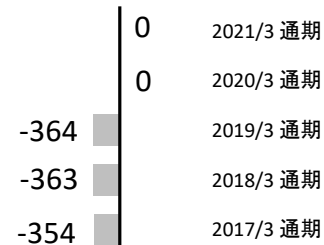
## 営業活動によるキャッシュ・フロー



## 投資活動によるキャッシュ・フロー



## 財務活動によるキャッシュ・フロー



# 資料の内容

1 2021年3月期 通期 連結決算概要

---

2 2022年3月期 通期 連結業績の見通し

---

3 参考資料

## 2022年3月期 通期 連結業績の見通し(前期比較)

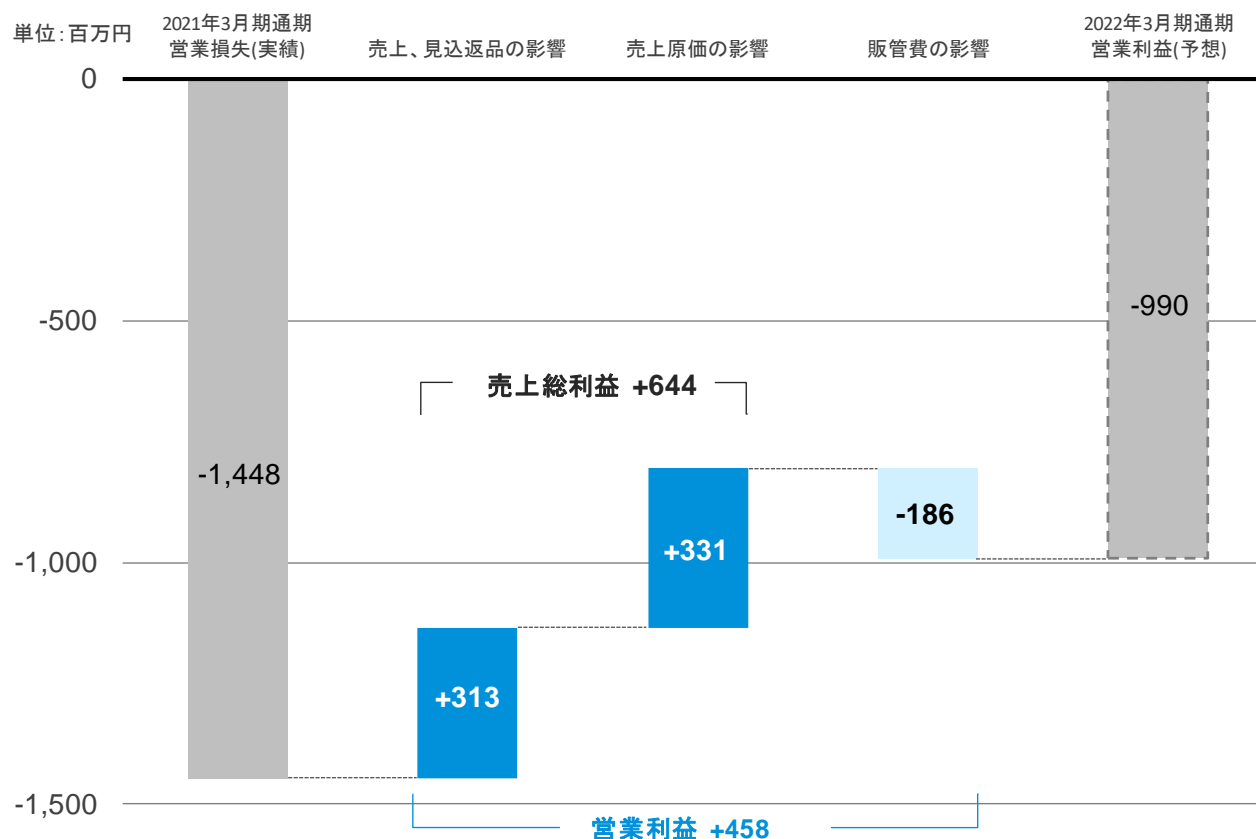
新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残り続けるため業績の急速な回復が見通せる状況にないことから親会社株主に帰属する当期純損失計上を見込む。

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	6,313	7,090	776	12.3%
営業利益 (売上高比、以下同)	-1,448 -22.9%	-990 -14.0%	458	-
経常利益	-1,415 -22.4%	-950 -13.4%	465	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-2,374 -37.6%	-970 -13.7%	1,404	-
1株当たり当期純利益 (円)	-130.62	-53.36	77.26	-

単位:百万円

# 2022年3月期 通期 営業利益の増減分析(前期比較)

売上高の改善は見込むものの新型コロナウイルス感染症の影響は残ることを想定し、営業利益は改善するもののマイナスを見込む。



# 資料の内容

- 1 2021年3月期 通期 連結決算概要
- 2 2022年3月期 通期 連結業績の見通し

---

## 3 参考資料

---

# 当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社10社(うち2社は解散のため清算中)、持分法適用関連会社2社および持分法非適用関連会社1社の計13社で構成。(2021年4月1日現在)

当社

社名	株式会社昭文社ホールディングス
創業	1960年5月
設立	1964年6月
社員数	32人(2021年4月1日現在)
上場市場	東京証券取引所 市場第一部
本社所在地	東京都千代田区麴町三丁目1番地
事業内容	グループ全体の経営戦略立案、企業価値向上および不動産事業、物流事業等を展開

連結子会社

社名	株式会社昭文社	株式会社マップル	株式会社MEGURU	株式会社昭文社クリエイティブ
事業内容	地図・旅行情報等を基にしたメディアの企画・編集・制作・販売・広告、特注品制作、著作権(ブランド)使用許諾	地図・ガイド情報等を基にしたデジタルデータベースの企画・制作・販売・使用許諾及びそれらを活用したサービスの提供事業	旅行業全般に関する事業	当社電子事業であるデータベースの企画・制作
社名	株式会社マップル・オン	株式会社Kuquulu	MMS GUAM Corporation	SHOBUNSHA SINGAPORE PTE. LTD.
事業内容	モバイル(携帯・スマートフォン)向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業	コールセンター事業	現地アクティビティ催行及びリゾート施設の運営	現地発着型ツアーの予約事業



# 注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられますようお願いいたします。